

令和2年3月24日

報道機関 各位

東北大学 災害復興新生研究機構
原子炉廃止措置基盤研究センター

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

東北大学の英知を集めて 1F の廃炉を加速

(1F:東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所)

このたび、東北大学災害復興新生研究機構と東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニーは、東日本大震災からの復興と新生に寄与することを目的として、本日、包括連携協定を締結しました。さらに、同連携協定の下、東北大学原子炉廃止措置基盤研究センターに東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニーとの共同研究部門「福島第一原子力発電所廃炉支援基盤研究部門」を設置します。

東北大学は、東北地方における研究拠点として東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所（以下、1F という）の安全かつ着実な廃炉の推進に資するため、基礎・基盤的な研究と技術開発並びに人材育成に努めてきました。この間、文部科学省『英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム』に平成26年から5年間取り組み、成果を挙げることができました。このプログラムにより確立された基盤を活用して、現在、原子炉廃止措置基盤研究センターにおいて廃炉研究と人材育成の全学的な取り組みを推進しています。

そのような中、1F の安全・着実な廃炉推進に資する新規技術開発および学術的新知見獲得ならびに関係諸分野における人材育成をより効果的に推進するため、1F 廃炉の実施主体である東京電力と総合大学である東北大学が、同センター内に共同研究部門「福島第一原子力発電所廃炉支援基盤研究部門」を令和2年4月1日より5年間にわたり設置します。同部門では、1F 廃炉現場で直面する様々な技術的課題の解決に資する広範な分野の研究を実施します。

添付資料：東北大学災害復興新生研究機構と東京電力 HD（株）福島第一廃炉推進カンパニーとの連携協定締結ならびに共同研究部門の設置について

以上



**東北大学災害復興新生研究機構と東京電力HD(株)
福島第一廃炉推進カンパニーとの連携協定締結
ならびに共同研究部門の設置について**

**東北大学 災害復興新生研究機構
原子炉廃止措置基盤研究センター**

東京電力HD(株) 福島第一廃炉推進カンパニー

令和2年3月24日(火)

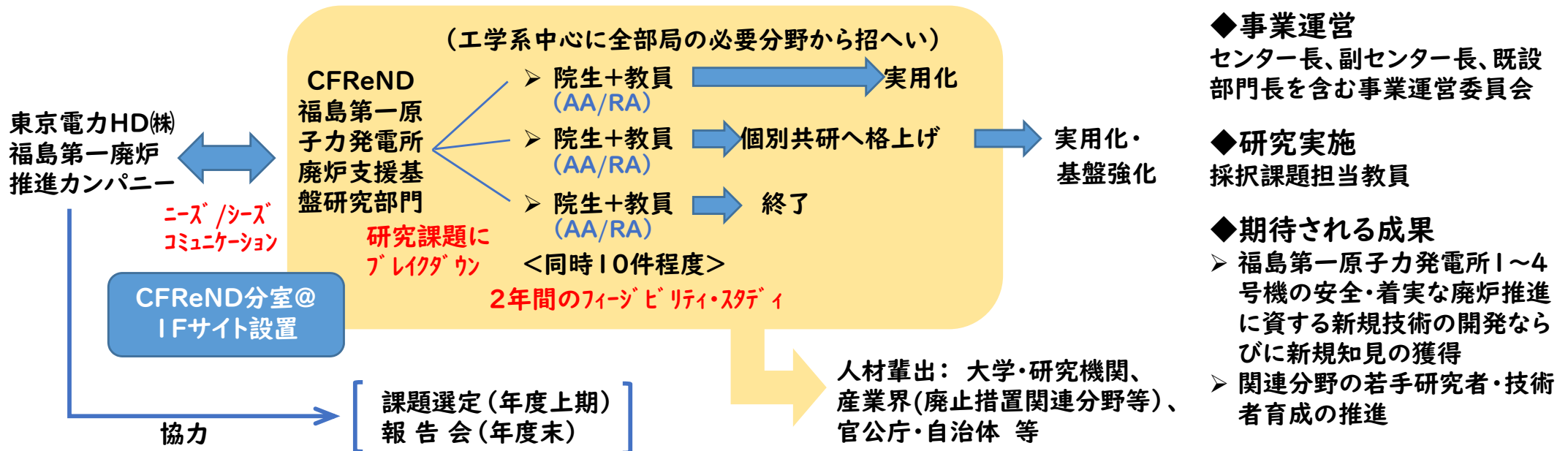
- 『国立大学法人東北大学災害復興新生研究機構』と『東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー』との間で締結。
- 研究及び人材育成における相互の連携協力を円滑かつ効果的に推進し、東日本大震災からの復興に寄与することを目的とする。
- 次に掲げる相互協力を実施する。
 1. 情報交換
 2. 共同研究の推進
 3. 研究設備の相互利用
 4. 人材交流
 5. シンポジウム等の開催
 6. その他本協定の目的遂行上必要な事項

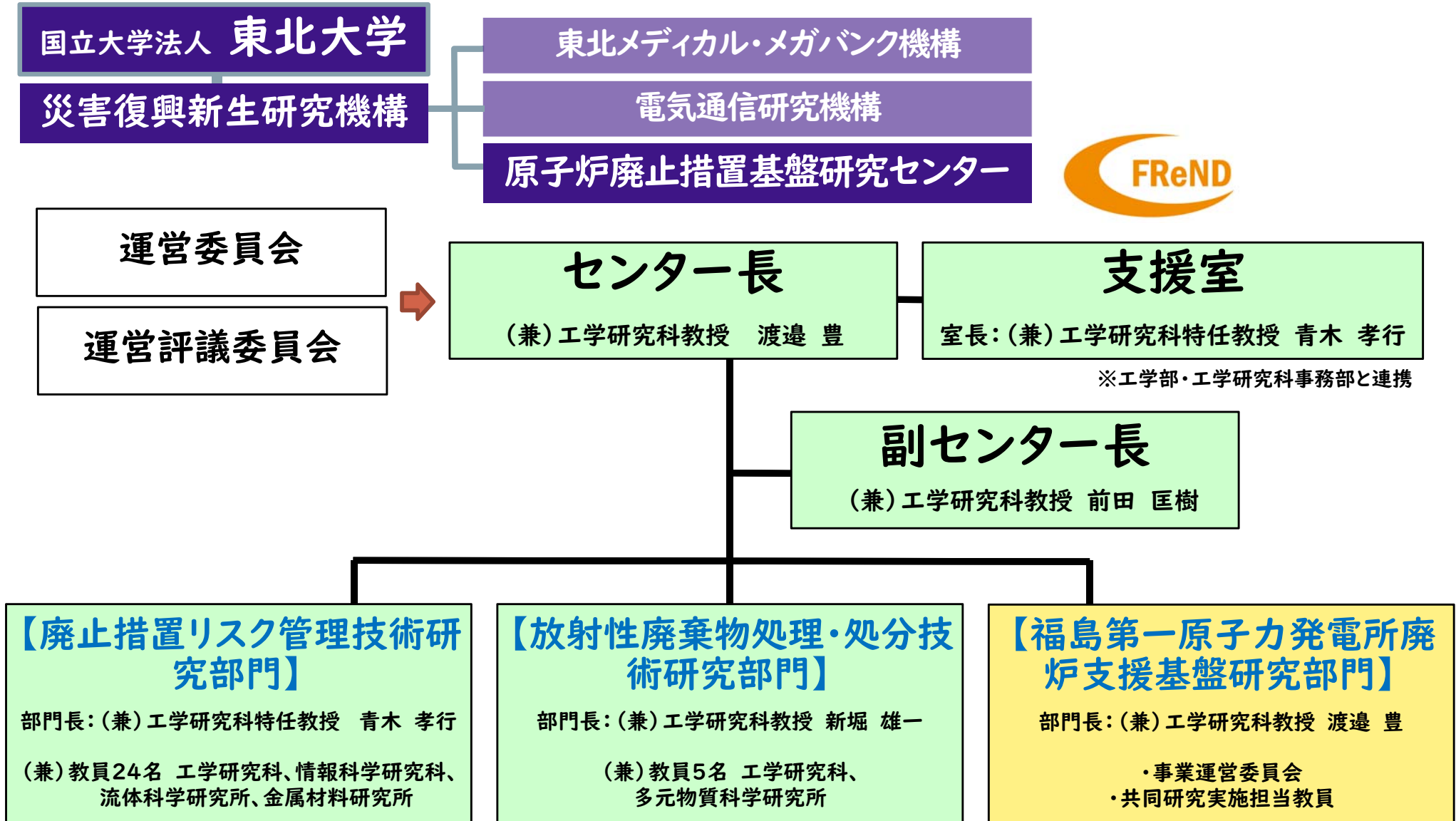
東北大学 原子炉廃止措置基盤研究センター (CFReND)

福島第一原子力発電所廃炉支援基盤研究部門

■本部門の狙い

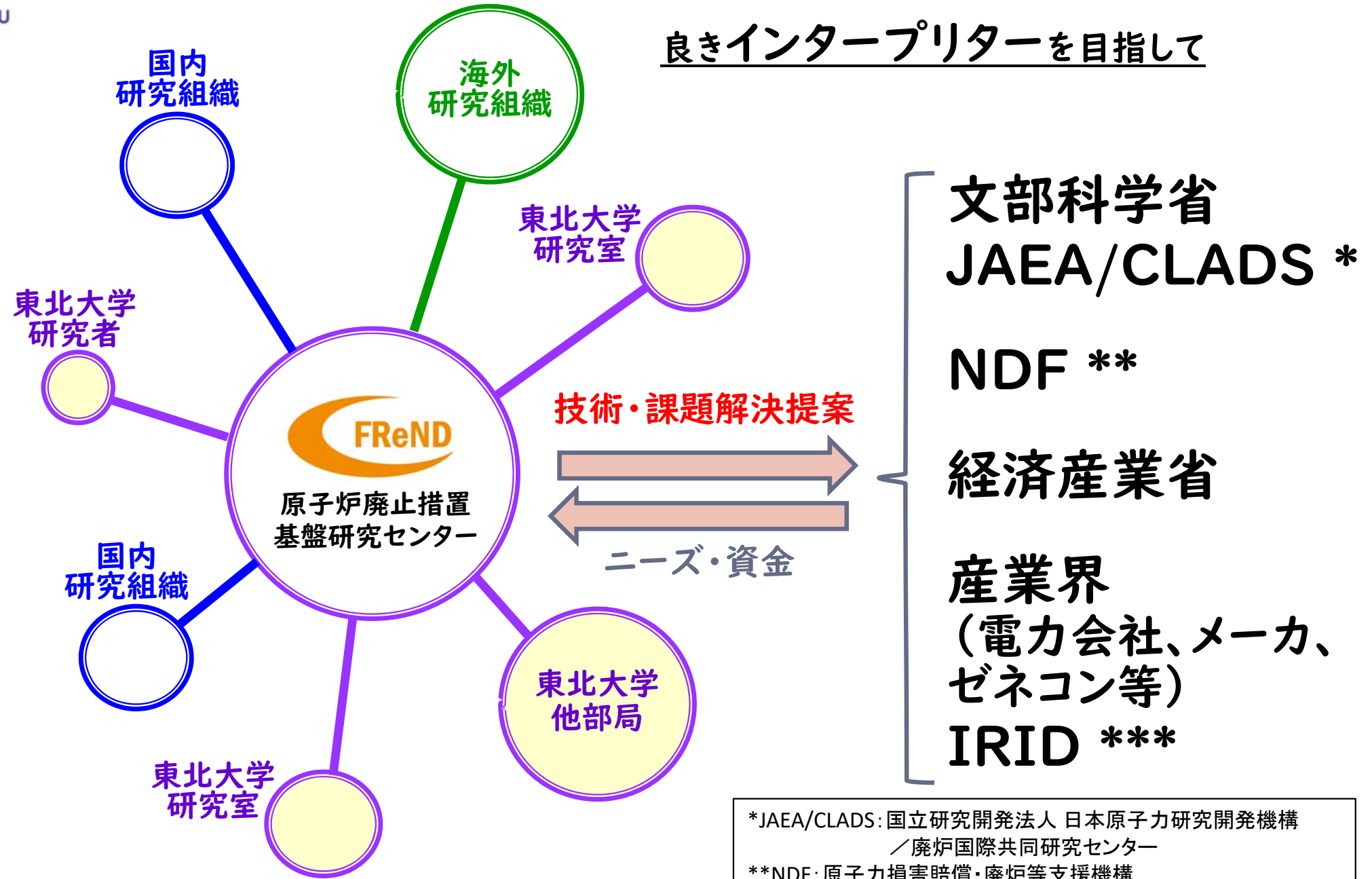
過酷事故を経た福島第一原子力発電所の廃炉完遂のためには、既存技術の組み合わせのみならず、革新的技術の開発あるいは現象等の原理的解明などが不可欠であり、学術的にも広範な分野での高度な挑戦が求められている。廃炉事業の実施主体である東京電力と総合大学である東北大学が連携することによって、安全かつ着実な廃炉推進に求められる新規技術開発等に効果的に貢献するとともに、当該分野における人材育成を目指す。





研究連携ハブとしてのCFReND

良きインタープリターを目指して



*JAEA/CLADS: 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
／廃炉国際共同研究センター

**NDF: 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

***IRID: 技術研究組合 国際廃炉研究開発機構